

「2022年度 第1四半期決算概要」

1. 2022年度1Q連結業績概要

2. 2022年度業績見通し

第1四半期 業績概要

- 増収効果がある一方で資源高・インフレの影響で営業利益は減益なるも、**営業利益率2桁を維持**。
為替効果があり**当期利益は増益、EPSは高水準を達成**。

業績見通し

- 為替の前提は見直すも、**通期の見込みについては変更なし**
(米ドル: 123円/ドル、ユーロ: 134円/ユーロ)

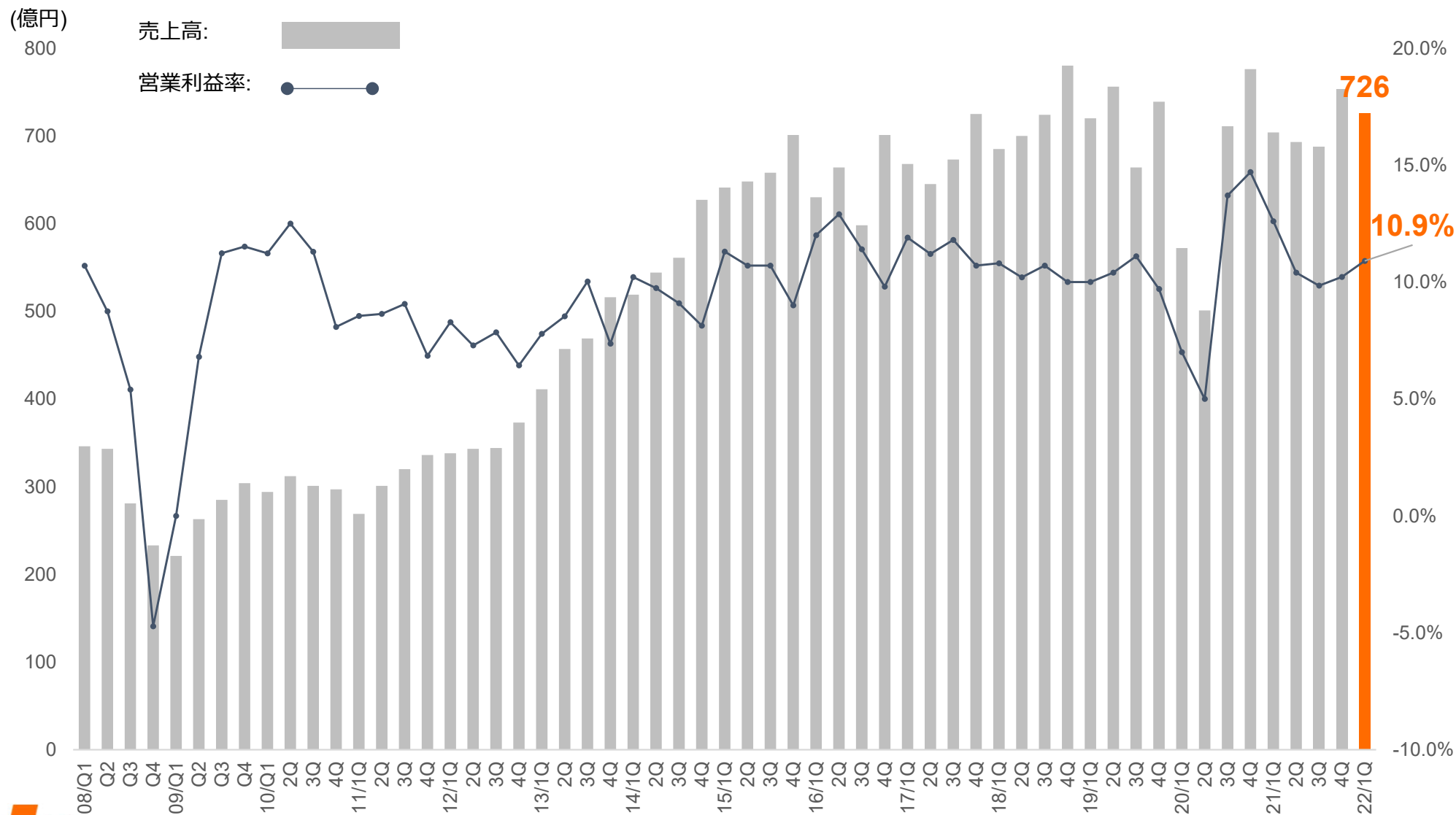
1. 2022年度1Q連結業績概要

2. 2022年度業績見通し

1. 決算ハイライト

売上高・営業利益率 推移

- 減益なるも営業利益率二桁を維持（高収益を継続）



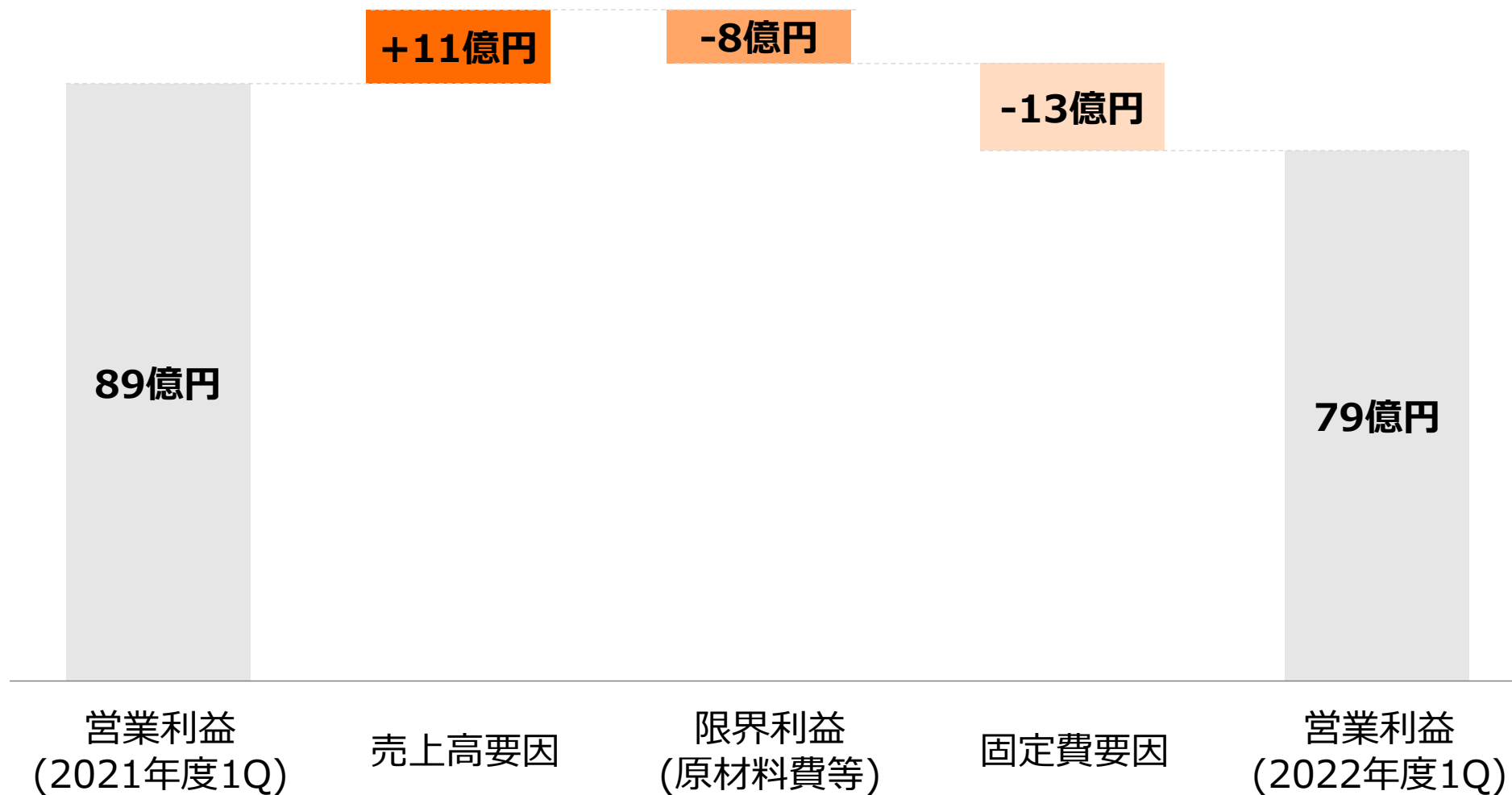
2021年度2Q以降営業利益・営業利益率は増加基調

- 営業利益は減益なるも為替効果があり当期利益、EPSは高水準

	2021年度				2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比
売上高	704億円	693億円	688億円	753億円	726億円	3.2%
営業利益	89億円	72億円	68億円	76億円	79億円	-10.9%
営業利益率	12.6%	10.4%	9.8%	10.2%	10.9%	-1.7%pts
当期純利益 ¹⁾	61億円	58億円	47億円	63億円	80億円	31.7%
一株当たり 四半期純利益	60.10円	57.07円	46.38円	63.71円	80.22円	33.5%
想定為替	1ドル=106.0円 1ユーロ=127.8円	1ドル=107.8円 1ユーロ=129.9円	1ドル=108.5円 1ユーロ=129.8円	1ドル=109.9円 1ユーロ=129.9円	1ドル=116.3円 1ユーロ=130.4円	1ドル=-+10.3円 1ユーロ=+2.6円

営業利益増減分析（前年同期比較）

- 増収効果はあるも、資源高、インフレの影響もあり減益となる



日本・欧州を除く地域・セグメントで前年同期比増収

- 売上高は日本・欧州を除き前年同期比で増収
- 特に、アジア・ベッド事業が好調

	2021年度 (1Q)	2022年度 (1Q)	前年同期比	主な変動要因
連結	704億円	726億円	+3.2%	
合成樹脂	636億円	652億円	+2.6%	
日本	180億円	166億円	-7.6%	自動車生産台数の減少の影響あり
北米	152億円	158億円	+4.1%	生産台数減少するも増収確保
欧州	96億円	91億円	-4.9%	生産台数減少と子会社売却の影響
アジア	208億円	237億円	+13.7%	好調
中国	66億円	83億円	+25.3%	日系生産台数増加の影響
ベッド	68億円	74億円	+8.8%	引き続き好調

前年同期比で合成樹脂事業は減益も、ベッド事業は増益

- アジアの合成樹脂事業、ベッド事業が好調で前年同期比増益
- 欧米の減益幅が大きく、合成樹脂事業全体は前年同期比で14%の減益

	2021年度 (1Q)	2022年度 (1Q)	前年同期比	主な変動要因
連結	89億円 (12.6%)	79億円 (10.9%)	-10.9%	
合成樹脂	91億円 (14.4%)	79億円 (12.1%)	-14.0%	各地域とも資源高の影響あり
日本	31億円 (17.5%)	25億円 (15.1%)	-22.4%	
北米	12億円 (7.9%)	9億円 (5.5%)	-26.7%	資源高と人件費のアップ
欧州	9億円 (9.0%)	0.4億円 (0.4%)	-95.8%	生産台数の減少と資源高の影響
アジア	39億円 (18.9%)	45億円 (18.8%)	+14.6%	増収効果大きく資源高を跳ね返す
中国	11億円 (16.3%)	15億円 (18.6%)	+43.2%	増収効果大きく資源高を跳ね返す
ベッド	12億円 (17.0%)	13億円 (17.8%)	+10.4%	引き続き好調を維持

6. 設備投資と減価償却費

キャッシュフロー重視の経営を継続し、資金配分を適切に管理

- 前年同期と同水準の設備投資を実施
- 現預金の増加は、円安による影響が大きい（円換算上の影響）

	2021年度(1Q)	2022年度(1Q)	増減	2022年度通期計画
設備投資額	18億円	18億円	- 億円	131億円
減価償却費	30億円	32億円	+2億円	130億円
研究開発費	9億円	9億円	- 億円	28億円
営業CF	86億円	61億円	-25億円	384億円
投資CF	-16億円	-40億円	-24億円	-131億円
フリーCF	70億円	21億円	-49億円	253億円
財務CF	-30億円	-45億円	-15億円	-147億円
現預金残高	1,018億円	1,118億円	+100億円	1,199億円

1. 2022年度1Q連結業績概要

2. 2022年度業績見通し

7. 2022年度見通し(見立て)¹ 為替前提を見直し

- 為替動向を踏まえて、2022年度の為替の前提を見直し(123円/ドル、134円/ユーロ)
- 海外は中国ロックダウン等による影響を勘案¹

		見通しの 対象期間	前回(5月) 想定	今回 想定	
国内	需要	2022/7 ~2023/3			<ul style="list-style-type: none"> • 自動車生産回復が顕在化と見立て。サプライチェーン問題等による不確実性は残る
	供給				<ul style="list-style-type: none"> • インフレ継続と見立て
海外	需要	2022/4 ~2022/12			<ul style="list-style-type: none"> • 6月迄は中国ロックダウンにより影響あり • 7月以降は自動車生産回復が顕在化と見立て。サプライチェーン問題等による不確実性は残る
	供給				<ul style="list-style-type: none"> • インフレ継続と見立て
為替			115円/ドル 130円/ユーロ	123円/ドル 134円/ユーロ	<ul style="list-style-type: none"> • +8円/ドル • +4円/ユーロ

通期見通しについては、変更なし

- 通期の見込みについては、為替の前提は見直すも、変更なし
(米ドル: 123円/ドル、ユーロ: 134円/ユーロ)
- 2Q以降北米の一部生産混乱によるリスクあり
- 様々なリスクのある欧州セグメントの営業利益進捗は悪い

	2022年度(1Q累計)		2022年度(通期計画)		達成率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結	726億円	79億円	3,050億円	315億円	23.8%	25.1%
合成樹脂	652億円	79億円	2,720億円	310億円	24.0%	25.5%
日本	166億円	25億円	800億円	115億円	20.8%	21.7%
北米	158億円	9億円	650億円	30億円	24.3%	30.0%
欧州	91億円	0.4億円	370億円	20億円	24.6%	2.0%
アジア	237億円	45億円	900億円	145億円	26.3%	31.0%
中国	83億円	15億円	310億円	45億円	26.8%	33.3%
ベッド	74億円	13億円	330億円	60億円	22.4%	21.7%



本資料に記載されている情報には将来の見通しに関するものが含まれています。これらには現在入手可能な情報をもとにした判断が含まれており、リスクや不確実性が含まれています。今後の経済状況、事業環境の変化などにより将来の見通しが大きく変わる可能性があるため、将来の見通しに関する情報が正確であること、または記載した情報どおりになる事を当社が保障するものではありません。また、これらの情報は投資家の方々へ当社の状況や今後の考え方を伝えることを目的としており、当社株式の売買を勧誘するものではありません。